

殺虫殺菌剤

箱いり娘[®]粒剤

クロチアニジン	1.5%
スピネトラム	0.5%
イソチアニル	2.0%
フラメトビル	4.0%

種類名/クロチアニジン・スピネトラム・
イソチアニル・フラメトビル粒剤
農林水産省登録/第23033号(住友化学登録)
毒性/普通物*
有効年限/5年
包装/1kg×12、3kg×6、10kg

特長

- いもち病、紋枯病など水稲の主要病害に優れた効果を発揮します。
- 水稲初期害虫・ウンカ類・コブノメイガ・フタオビコヤガなど水稲の主要害虫に優れた効果を発揮します。
- 稲に対する安全性が高い薬剤です。

適用病害虫と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲 (育苗箱)	いもち病 紋枯病 白葉枯病 もみ枯細菌病 穂枯れ (ごま葉枯病菌) 内穎褐変病 疑似紋枯症 (褐色紋枯病菌) 赤色菌核病菌 褐色菌核病菌/ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ イネミスゾウムシ イネドロオウムシ ニカメイチュウ イネツトムシ イネヒメハモグリバエ	育苗箱 [30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ] 1箱当り50g 高密度に は種する場合は 1kg/10a 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り 50～100g	移植7日前 ～移植当日	本剤 1回 クロチアニジン剤 4回 [移植時までの処理は1回、 本田での散布、空中散布、 無人航空機散布は合計3回] スピネトラム剤 3回 [移植時までの処理は1回、 本田では2回] イソチアニル剤 3回 [移植時までの処理は1回、 本田では2回] フラメトビル剤 2回 [移植時までの処理は1回]	育苗箱の上から 均一に散布する
稲	いもち病 紋枯病 イネドロオウムシ イネミスゾウムシ ニカメイチュウ	1kg/10a	移植時	本剤 1回 クロチアニジン剤 4回 [直播での種時又は移植 時までの処理は1回、本田 での散布、空中散布、無人 航空機散布は合計3回] スピネトラム剤 3回 [直播での種時又は移 植時までの処理は1回、 本田では2回] イソチアニル剤 3回 [直播での種時又は移 植時までの処理は1回、 本田では2回] フラメトビル剤 2回 [直播での種時又は移 植時までの処理は1回]	側条施用

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
湛水直播 水稻	いもち病 紋枯病 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ニカメイチュウ フタオビコヤガ イネツトムシ キリウジガガンボ	1kg/10a	は種時	本剤 1回 クロチアニジン剤 4回 [は種時までの処理は1回、 本田での散布、空中散布、 無人航空機散布は合計3回] スピネトラム剤 3回 [は種時までの処理は1回、 本田では2回] インチアニル剤 3回 [は種時までの処理は1回、 本田では2回] フラメトビル剤 2回 [は種時までの処理は1回]	は種同時施薬機 を用いて 土中施用する

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粕として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用してください。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■薬害

- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出しないように注意してください。
- いくさ栽培予定の水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいくさを栽培しないでください。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合がありますので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布してください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。

■水産動植物への注意

- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

■貯蔵上の注意

- 密封し、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。